



東京・上野公園の東京国立博物館で17日に始まる特別公開「新発見！天正遣欧少年使節 伊東マンシヨの肖像」（読売新聞社など主催）で世界初公開される天正遣欧少年使節の正使、伊東マンシヨの油彩肖像画が16日、会場で荷ほどきされ、初々しい少年の姿が現れた。写真。

「伊東マンシヨ」肖像 上野に きょう初公開

肖像画は2009年にイタリアで確認され、ミラノのトリブルツィオ財団の調査でマンシヨ像と判明。14年3月の本紙報道などで存在が明らかになった。ベネチア派の大画家ティントレットの息子、ドメニコ・ティントレット（1560～1635年）の作で、九州のキリシタン大名たちの名代として1585年に当時のベネチア共和国に入り、歓迎された16歳頃の姿が描かれている。

瀬谷愛・同館主任研究員は「肖像画は研究者が長く存在を期待していたもの。キリシタンを巡る当時の時代背景も知ってもらえたら」と話している。公開は7月10日まで本館7室で。その後、長崎歴史文化博物館、宮崎県立美術館に巡回する。